



南会津 のうりんニュース

平成22年5月(第144号)

今月の写真：観音沼（下郷町）

5月の連休は一気に夏になったようでしたが、その後は気温の変動が厳しく感じられます。平成になってから4月の平均気温が今年より低かったのは、田島では平成5、8年、只見では平成8、18年のそれぞれ2回です。今年の天候を木々は年輪にどのように刻むのでしょうか。

今月の内容：

- 今月のトピックス
 - ・南郷トマト新育苗センター稼動
 - ・産地見学交流会開催！
 - ・山火事予防パレードを実施しました
 - ・皆さんの森林を巡視しています
～福島県森林保全巡視員～
- 特集
 - ・クラインガルテン下郷開所式（下郷町）
- 今月のコラム
 - ・着任のごあいさつ
- お知らせ
 - ・平成22年度農業研修案内
 - ・ベレットストーブを導入される方に補助金を交付します
 - ・ふくしまの木で家を建てませんか？

平成22年5月28日発行 福島県南会津農林事務所

今月のトピックス

南郷トマト新育苗センター稼動



播種したセルトレイをハウス内に並べる作業（4月9日）

南郷トマト生産組合では、今年から苗の品質の均一化と育苗作業の効率化を図ることを目的に、JAの南郷トマト選果場（南会津町宮床）脇に育苗センター（ハウス6棟）を設置し、育苗を開始しました。

昨年までは、10戸の生産者により自家の育苗ハウスで、育苗を行ってききましたが、育苗センターの設置に伴い、今まで育苗を行ってきた生産者が運営委員となり育苗管理を担当することとなりました。

セルトレイに播種し、30℃で24時間加温したものをこのハウスに並べ、仮植前まで管理します。

この6棟からなる育苗センターでは、接木用苗の

穂木と台木、自根用の穂木をおよそ80万本生産し、4月30日から、順次生産者への苗の配布を行いました。

今年の「南郷トマト」は、122名の生産者で、作付面積は前年より微増の33haが予定されています。南会津農業の牽引役である「南郷トマト」のさらなる飛躍が期待されます。（農業振興普及部）

産地見学交流会開催！

外 食産業の全国団体である(社)日本フードサービス協会が、産地を訪れて生産の状況を視察し、生産者等と交流を図る産地見学交流会が、去る4月20日に下郷町と南会津町を会場として開催されました。

参加者は、大型バスでJR新白河駅から甲子道路を經由して下郷町に入り、会津地鶏、アスパラガス、鱒、シイタケ等の生産現場を視察しました。特に、アスパラガスにおいては、JAのアスパラガス部会長のハウスでグリーンとパープルの2色のアスパラガスを見学し、1日に5～10cm伸びるとの説明



下郷町ブースでの試食・PR

に驚いた様子でした。その後、下郷町の養鱒センターでは、ほ場で生産状況を見学していただいた食材を使った試食会を行い、新鮮でおいしい食材の味をしっかりと確認していただきました。

夜には、下郷町ふれあいセンターにおいて交流会が開催され、下郷町を中心とした南会津地方の14の企業・団体がブースを出展し、地域の特色ある農産物や加工品のPRを行いました。

交流会では、知事や下郷町長が歓迎のあいさつを行なった後に、出展者の方々が新鮮なアスパラガスや鱒、地域の特産品である会津地鶏やじゅうねん加工品、山菜加工品など、実際に飲食店で提供する際のメニュー提案を含め、多彩な品揃えにより自慢の産品をPRしました。

なお、この産地見学交流会は、翌21日には会津地方において、精米工場や乳製品工場、漬物工場の産地見学を行うとともに、会津若松ワシントンホテルにおいて交流会と意見交換会が開催されました。

今回の産地見学交流会をきっかけとして、外食産業と生産者との交流が深まっていくことを期待しております。

(企画部・農業振興普及部・森林林業部)

山火事予防パレードを実施しました

今年は、雪が例年以上に残っていますが、これからの季節は空気が乾燥し、山菜採りなどで山に入る人も多くなることから、山火事の予防を啓発するため、4月24日(土)と5月8日(土)



に南会津地区山火事防止連絡協議会主催による山火事予防パレードが南会津郡内で開催されました。

昨年の南会津郡内では、火入れを原因とした山火事が多く発生しています。

田畑での火入れの際は、火が燃え移らないように充分注意し、山火事が発生しないように気をつけてください。また、今年は若葉の芽吹いてくる時期が例年より遅れると予想されますので、山火事が発生しやすい期間が長くなると思われます。梅雨時期に入るまで山火事が発生しないように十分気をつけてください。(森林林業部)

皆さんの森林を巡視しています。 ～福島県森林保全巡視員～

南 会津管内の森林保全巡視員は、主に保安林や県行造林を対象に巡視を行う特別職員で、下の写真の9名の方が知事から委嘱され、巡視しております。

また、保安林以外の民有林についても、山菜やキノコ採りで山に入っている人に対しての山火事の防止やゴミの持ち帰り指導、溪流や山腹の崩壊・林道被災の発見、病虫獣の被害や雪折れ木の確認、標柱や看板類の手入れなど、良好な森林環境の維持を図るため活動しております。(森林林業部)

山で出会った時には お気軽に声をかけてください。



下郷町江川橋原担当
星 丈夫さん



下郷町旭田担当
星 文芳さん



南会津町田島担当
星 正平さん



南会津町田島担当
細井 俊二さん



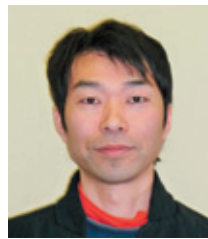
南会津町館岩担当
鈴木 秀明さん



南会津町南郷担当
馬場 邦佐さん



南会津町伊南、檜枝岐村担当
河原田信弘さん



只見町明和朝日担当
梁取 一樹さん



只見町只見朝日担当
五十嵐幹哉さん

農林事務所からお知らせ

平成22年度農業研修案内

福島県農業総合センター農業短期大学校では下記の研修を開催します。

受講してレベルアップしてみませんか。研修内容をご確認のうえお申し込みください。

①就農研修：農業を始めたい方や就農されたばかりの方が対象です。「就農案内研修」「就農体験研修」「新規就農研修」

②農産加工研修：加工を实践したい農業者の方が

対象です。「加工初心者基礎研修」「米粉活用研修」「大豆活用研修」「小麦活用研修」「地域素材活用研修」「研究開発技術提供研修」

③農業機械研修：農業機械の免許取得や技術向上を目指す方が対象です。「運転免許取得研修」「農業機械技術研修」「施設利用研修」「現地支援研修」

詳細は、福島県農業総合センター農業短期大学校ホームページの「研修案内」をご覧ください。

(農業振興普及部)

クラインガルテン下郷開所式(下郷町)【滞在型市民農園】

県 内初となる滞在型市民農園『クラインガルテン下郷』(愛称：ファームランドしもごう)が4月1日から利用が開始されました。

今回、「クラブハウス」と、「ラウベ」と呼ばれる簡易休憩施設10棟が整備され、2月から利用者募集を開始したところ、全国各地から多数の問い合わせがあり、近年のグリーンツーリズムやスローライフといった田舎暮らしに対する関心の高さがうかがわれました。10組のクラインガルテン利用者のうち、7組は東京や埼玉など首都圏在住の方々、3組は県内や東北地方からの利用者となっています。

また、利用者の募集と同時に「クラインガルテン下郷ふれあい支援協議会」も設立されました。この協議会は、農作業の指導や各種交流イベントの企画など、利用者と地域住民の交流促進を目的とした組織です。会員の方々は、まず、4月23



一口メモ

クラインガルテンはドイツ語で「小さい庭」という意味です。日本では、市民農園にログハウスを附設した滞在型市民農園を指す場合が多くなってきています。ヨーロッパでは「ダーチャ(ロシア)」「コロニーヘーブ(デンマーク)」「フォルクスタイン(オランダ)」など地域の特色ある市民農園があります。



日のオープニングセレモニーに向けて、利用者の皆さんに満足していただく1日にするため、町や関係団体と、準備を進めてきました。

オープニングセレモニー当日は、あいにくの雨模様で気温も低く寒い1日となってしまいましたが、利用者や関係者ら約40名が出席し、愛称作品の表彰や関係者らによるテープカット、記念植樹を行いました。

その後の祝賀会では、準備を重ねてきた協議会の方々によって「会津地鶏汁」や「下郷町産のソバ」等が振る舞われ、「とても美味しい。作り方を是非教えてほしい。」等利用者の皆さんは、とても満足されたようです。

さらに、利用者の皆さんと協議会会員での懇談会において、「どんな野菜を作ることが出来るのか?」、「トマト等の収穫体験に参加したい!」など積極的な意見が出され、協議会の会員も今後、利用者に対しての支援策等をイメージ出来たのではないのでしょうか。

これから農作業のシーズンをむかえ、“農作業体験”や“収穫祭”など、「クラインガルテン下郷」を拠点とした利用者と地域住民の交流が活発に行われることで、当地域における定住人口の増加など地域振興に大きな役割を果たすものと期待されます。(農業振興普及部)

お問い合わせ先

下郷町役場 事業課 産業振興班

TEL : 0241-69-1188 FAX : 0241-69-1167

〒969-5345

福島県南会津郡下郷町大字塩生字大石1000番地

<http://www.town.shimogo.fukushima.jp/nouen/blog/>

クラインガルテン下郷

検索

着任のごあいさつ

4月の人事異動により、四半世紀ぶりに南会津の地を踏みました。

どうぞよろしくお祈りします。

ここは初めての単身赴任の地だったこともあり、田島の台鞍山スキー場や伊南の林業総合センター、檜枝岐村の林産所、只見町の青少年旅行村整備などのお手伝いをしたことが、昨日のこのように思い出されます。

町並みの変わりようもあり、案内が必要な所もありましたが、変わらぬ懐かしいお顔を拝見できたりと気持ちは昔にすっかり戻りました。

さて今年度は、県の総合計画や農林水産業振興計画「いきいきふくしま農林水産業振興プラン」の初年度であり、将来を見据えた新たなチャレンジが始まります。

当南会津管内は「みんなが輝く園芸産地と交流の郷づくり」をテーマに、地域の特色を生かした農林業の展開や6次産業化、観光産業との連携を柱に所得向上を目指すこととしていますが、皆様の御努力により評価が高まっているトマトやアスパラ、広大な森林資源、暖かな人柄・・・これらをベースにもっと「南会津らしさ」を発信していくことが、

計画実現のための王道であり近道であると考えます。いつも見慣れた風景、子供の頃にはよく食べた木の実に、昔から作られている作物など普段あまり気にかけない事象に、他所から訪れた人は驚いたり感激したりします。

こうした地域の隠れた宝を見つけ出し、光を当てることが当所の仕事の一つだと思います。

また、各地区で地域を元気にしようと、様々な方々が様々な形で活動されています。

思いの根っこが同じ方向士が出会うと、たとえ分野が違っていても思わぬ展開が生まれたりします。

こうした方々の出会いをお手伝いしたり、必要な情報を提供したりすることも当所の役割であると考えています。

基本となる業務は押さえないながらも、やってみなければ判らない、たとえ転んでも転んだ分だけ前には進んでいる、そうした勢いを持って物事に当たっていく事務所となるよう努めてまいります。

よろず御相談たまわりますので、是非お声がけをお願いします。



南会津農林事務所長 しど ひろゆき 宍戸 裕幸

農林事務所からお知らせ

ペレットストーブを導入される方に補助金を交付します

平成23年2月28日までに福島県内の住居や事務所、店舗等にペレットストーブを設置する個人、事業者又は団体の方で、ペレットストーブの使用状況等について、簡単なモニターにご協力いただける方が対象となります。

補助金額 ペレットストーブ1台につき5万円
平成22年度の補助台数は70台です。

募集期間
平成22年12月28日(火)まで
申請が全県で70台に達した時点で募集を締め切ります。

詳細はホームページをご覧ください。
http://www.pref.fukushima.jp/forestry/baiomas/baio_hojoyo/stovehojoyo.html (森林林業部)

ふくしまの木で家を建てませんか？

県では、低炭素型社会の実現と地域住宅関連産業の活性化を目的として、県産木材をふんだんに使った木造住宅を建設される方に対し、建設経費の一部を助成します。

補助金額 30万円

平成22年度の補助対象棟数は50戸です。

募集期間 平成22年7月12日(月)まで

応募者多数の場合は抽選となります。

応募先 福島県土木部建築指導課民間建築担当
<http://www.pref.fukushima.jp/kenchiku/data/shido/min/sumairu/fsumairu.html>

(森林林業部)

お問い合わせはこちら
福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1
電話 0241-62-5252 FAX0241-62-5256
電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp
ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>
南会津農林 検索 バックナンバーはこちらから

みんなが主役。「絆」がつくる
“ごちそう ふくしま”
みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。
PRINTED WITH SOY INK
この広報誌はSOY(大豆油)インキを使用しています。